

11/10 ユニークな屋台で受賞!
杉コレクション2012in宮崎

ユニークな杉製品のデザインを募集するイベント「杉コレクション2012in宮崎」で、養生詩塾の佐藤忠文副塾長が提案した「みんなでヤタイ〜1本杉支え愛」が受賞しました。この作品は丸太の1本足屋台。今年のテーマ「ひとりじゃヤタイ」に最も合う作品と高評価を受け、グランプリは逃しましたが、2位とも言える「内田洋行賞」を受賞しました。参加者からは「このイベントのような遊び心をまちづくりにも取り入れたい」という声がありました。



受賞作品を支え合う養生詩塾生と、たてもの応援団員

11/4 遊んで食べて楽しんで!
菊少まつり

菊池少年自然の家で「菊少まつり」が開催されました。菊池の自然体験や地域の皆さんとの交流を深めることなどを目的に始まり今年で4回目。当日はあいにくの雨模様で屋内の開催となりましたが、およそ200人の来場者でにぎわいました。ヤマメつかみや木工ペンダント作りなどの活動コーナーには多くの子どもたちが挑戦。ステージイベントでは菊池小の和太鼓演奏や「劇団にゃあ」の寸劇が披露され、来場者は楽しいひとときを過ごしました。



ヤマメつかみを楽しむ子どもたち

11/13 韓国の螺鈿工芸家
吉正本さんが来菊

吉正本螺鈿工芸院長で韓国工芸芸術家協会名誉会長である吉正本さんが、螺鈿工芸品の展示会を開くため熊本を訪れ、韓国と親交のある本市を訪問しました。螺鈿は、真珠貝やほら貝などを使った装飾と漆塗りを組み合わせた家具やブローチなどの工芸品。韓国の螺鈿工芸の第一人者として活躍している吉さんは、「韓国と親交のある菊池市を訪問することができてとてもうれしい。ぜひ菊池温泉にも入りたい」と喜びを語りました。



左から吉正本さん、福村市長、吉さんと一緒に来菊した友人の国本玉子さんは孫正義ソフトバンク社長の母親

11/10 泗水東保育園
創立50周年記念式典

泗水東保育園創立50周年記念式典は、泗水ホールで行われました。式典では、ひまわり組園児による元気な歌と和太鼓の披露のほか、泗水東保育園児の保護者でもあるシンガーソングライターMICAさんのコンサートが行われ、会場は盛り上がりを見せました。鳩野ヨシ子園長は、「泗水東保育園の子どもたちが、輝く未来を背負っていける人間に成長するよう全職員で一層の努力を重ねていきます」とあいさつ。今後の意欲を語りました。



式典の最後には参加者全員で合唱しました

11/2 ~4 友好都市の韓国金堤市から
訪問団が来菊

韓国の友好都市である金堤市から、同市議会事務局長の趙庚相さんを団長とする6人の訪問団が友好交流を目的に来菊しました。一行は3日に開催された第27回しすいコスモスマラソンに参加。10月に金堤市の地平線祭りに出演した旭志中学校の生徒たちの応援を受けながら、コスモスの咲く沿道を快走しました。また、滞在中は菊池溪谷や鞆智城を訪れ、秋の菊池を満喫。「今度はぜひプライベートで菊池を訪れたい」と語りました。



しすいコスモスマラソンに参加した訪問団の皆さん

11/1 難関を突破!安武美奈穂さん
小6で珠算の段位を取得

隈府小学校6年の安武美奈穂さんが、第351回珠算検定試験に合格し、段位を取得しました。全国珠算教育連盟が主催する検定試験で、種目は掛け算、割り算のほか、応用計算や開法(ルート計算)など6種目。全ての種目で合格基準を満たし、小学生では難関とされる段位を取得しました。

安武さんは、「自信はありませんでしたが合格できてとてもうれしい。今後はもっと上の段位を目指して頑張りたい」と笑顔を見せました。



合格証書を手に笑顔を見せる安武さん

10/26 ~11/4 市民の文化の祭典!
第8回菊池市文化祭

泗水・旭志・菊池・七城の4会場で開催されました。今年初めて4支部合同開会式が七城公民館で行われました。各会場では幼児から高齢者まで幅広い年代の皆さんの習字、絵画、短歌、生け花などの作品展示や小学生による茶道の御点前、子ども生け花体験など地域の特色を生かした活動が披露されました。舞台では吹奏楽・コーラス・大正琴などの演奏や民謡・日本舞踊・社交ダンス・シャンソンなどそれぞれ1年間の研鑽の成果を披露しました。



1. 泗水会場で披露されたダンス 2. 菊池支部のフラダンス 3. 七城のお茶席 4.5. 旭志支部の展示



11/16 小・中学生15人が受賞!
税に関する作品表彰

税に関する作品表彰式が、大津イオンモールで開催されました。中学生作文の部・標語の部、小学生書道の部に菊池郡市の小・中学校から3,423点の応募があり、本市から15人が入賞しました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)
作文の部 古閑愛理、古田作 **標語の部** 徳永篤美
書道の部 高見さくら、武藤美南、松永愛美里、松永唯奈、藤川千華、笹原彩可、松田麻衣、中村公哉、野尻琉斗、武藤健流、大賀唯人、内山きらり



表彰を受ける本市の小学生

11/16 菊池ライオンズクラブ
ポール型時計を寄贈

菊池ライオンズクラブ(淀野孝之会長)より、結成50周年記念事業としてソーラー式両面ポール型時計2基の寄贈がありました。

1基は菊池老人福祉センターの玄関前に、もう1基は菊池ふれあい清流公園の駐車場にそれぞれ設置され、施設利用者のために役立っています。

寄贈ありがとうございました。



1. 菊池老人福祉センター 2. 菊池ふれあい清流公園

11/14 宝くじ助成事業で
区用備品を整備

コミュニティ(地域社会)の健全な発展を図ることを目的とした「コミュニティ助成事業」により、雪野区に「コミュニティ活動備品(ガーデンチェア、ガーデンテーブル、アルメッシュフェンス)」が整備されました。

この事業は、社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。今後、雪野区のますますの活性化が期待されます。



コミュニティ活動備品として購入した用具

11/13 やましたかずえ
山下一恵さん
厚生労働大臣表彰受賞

山下一恵さん(藤田)がボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞し、市役所で伝達式がありました。

山下さんは約22年間にわたり視覚障がい者の視点に立った音訳活動を実施。本市では広報の音訳、視覚障がい者への移動ボランティアなど行いながら朗読(音訳)奉仕員養成講座の指導者としても活躍し、その実績が評価され今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。



左から福村市長、受賞した山下さん

11/20 創造!生きる力
実践発表会

県内の教職員などを対象に熊本県立劇場で開催された発表会で、龍門小学校の先生と6年生児童が穴川夜神楽の取り組みを発表しました。

同校による取り組み事例の紹介のあと、子どもたちが「二剣の舞」と「四剣の舞」を保存会の笛・太鼓に合わせて披露。発表を見た参加者からは、「このような貴重な取り組みは今後もぜひ続けてほしい」といった意見や感想を聞くことができました。



龍門小の先生・児童と穴川夜神楽保存会の皆さん

11/17 地力を生かすまちづくり
第5回菊池文化資源講演会

九州大学大学院藤原恵洋研究室が展開中の「菊池文化資源総合調査」の一環として、西部市民センターで開催されました。今回は毎日新聞論説委員重里徹也さんを講師に迎え、「まちをものがたる想像力」と題して講話。地元出身の作家を生かしたまちづくりや、友好都市である遠野市の民話を利用したまちづくり、七城とパカボンのパパの関係など多彩な事例や提案を含んだ基調講演が行われ、まちづくりを考える貴重なひとときとなりました。



重里徹也さんの講演には多くの来場者が耳を傾けていました

11/16 よこたいたむ
横田勇さん
農林水産大臣から感謝状

東京都で行われた全国統計大会で、横田勇さん(菊池松島)に農林水産大臣から感謝状が贈られました。これは「統計の日」を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に、長年にわたって協力した人々に贈られるものです。

横田さんは、長年にわたる農業経営統計調査への協力が評価され、今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。



感謝状を受け取る横田勇さん

11/15 みんなにやさしい
駐車場・トイレ体験会

西部市民センターで、障がいがある人もない人も誰にでもやさしい駐車場・トイレの体験会がありました。人権を大切にすまちづくりを考える会(富川行戒会長)が開催。駐車場のラインや使いやすいトイレの向きなどの実演と説明がありました。説明した国脊椎損傷者連合会熊本支部の松川健二さんは、「障がいのある人もない人も同じように使えるものがユニバーサルデザイン。頭を柔らかくして固定観念をなくすことが大事」と思いを語りました。



誰にでも使いやすいトイレの説明をする松川さん(中央)と参加者の皆さん

12/1 菊池北小学校児童が 狂言を披露

菊池北小学校（宇野達也校長）6年生30人が介護老人保健施設リハビリセンターきくちの里を訪れ、狂言を披露しました。同校は、地域の伝統文化を体験し伝えていこうと平成10年に狂言を始め今年で15年目。学習発表会や市内の福祉施設などで披露しています。施設利用者の森川フジエさんは、「狂言は初めて見ましたが、感動して涙が出ました。皆さんの元気な演技を見て力をいただきました」と感謝を述べました。



施設利用者の皆さんに狂言を披露する菊池北小の児童たち

11/25 家庭料理が大集合! 水源食の文化祭

水源食の文化祭は、きくちふるさと水源交流館で開催されました。地域の食を見つめなおし、家庭料理にスポットを当てたこのイベントは、今回で8回目。各地域からさまざまな郷土料理や創作料理、水源小児童と地域住民でつくった「えごまドレッシング」などの試食会があり、参加者はおいしい料理に舌鼓を打ちました。会場では、「きりり弁当コンテスト」や「総合芸術集団カエルのパイプ」によるライブもあり、参加者は食の交流を満喫しました。



1. 各地域の婦人部などからさまざまな料理が出展 2. 水源小児童が学校での取り組みを発表 3. 多くの来場者でにぎわう会場

11/25 まちの安全を守ります! 菊池市総合防災訓練

地震などが発生した場合の災害対策能力向上を目的に、菊池市総合防災訓練が行われました。今回は震度6強の地震を想定し、災害対策本部設置訓練や救出・救助訓練などを実施。終始緊張感のなか、本番さながらの訓練が行われました。

隈府小学校では埋没車両救出訓練やはしご車による救出訓練があり、消防署と消防団が迅速な救助活動を遂行。午後からは、はしご車や応急処置の体験コーナーなどがあり、多くの市民が参加しました。



1. 消防署による埋没車両救出訓練 2. 災害対策本部設置訓練 3. はしご車による救出訓練 4. 炊き出し訓練 5. 応急処置体験コーナー



11/21 商工会青年部 泗水小に駒をプレゼント

商工会青年部泗水支部が、泗水小学校へ「駒」50個を贈りました。これは青年部の皆さんが伝承遊びの手伝いに参加したとき、古くなった駒を見ることがきっかけ。泗水秋まつりの売り上げの一部を使って、駒を贈ることを決めました。駒を受け取った宮川淳一校長は、「いただいた駒は、伝統遊びなどの授業で大切に使用させていただきます」とあいさつ。高見則光支部長は、「今後もいろいろな形で支援ができればうれしい」と笑顔を見せました。



駒を寄贈した商工会青年部泗水支部の皆さん（左から坂崎吉弘さん、成瀬誠治さん、高見則光さん）と駒を受け取った宮川校長

11/24 災害を乗り越えて としょかんまつり

7月の豪雨災害で被災した泗水図書館で「としょかんまつり」が開催されました。午前の部では、舞台女優の木内里美さんが朗読を披露。音楽家・松本洋一さんのコントラバスの音色に合わせ、来場者を物語の世界に引き込みました。その後、木内さんが「トメばあさん」に扮し、ユーモアに富んだ寸劇で会場は笑い包まれました。来場者は、「図書館が利用できるようになってうれしい。今日はたくさん元気をもらいました」と目を細めました。



コントラバスを奏でる松本さんと朗読を披露する木内さん

11/20 菊池市老人クラブ連合会 清掃ボランティア

菊池市老人クラブ連合会（菊川忠一会長）の会員約20人が、日ごろ利用している菊池老人福祉センターの清掃ボランティアを行いました。会員の皆さんは、早朝からセンター周囲の芝刈りを中心に、草取りや排水溝の掃除などを手際よく実施。清掃後はオープン当初のようにきれいになり、訪れる人に気持ちよく利用していただけるようになりました。



清掃ボランティアを行う菊池市老人クラブ連合会会員の皆さん

11/21 キクチ観光タクシー 長椅子を寄贈

キクチ観光タクシー（最上次男代表取締役）より菊池老人福祉センターに長椅子の寄贈がありました。4月にオープンした同センターに、「マイクロバスやタクシーなどを待っているときにベンチが足りない」との利用者からの要望を受け寄贈されたものです。

現在は「あいのりタクシー」の発着場としても利用されており、施設の利便性の向上につながっています。寄贈ありがとうございました。



寄贈された長椅子